

志望理由書 5段落ワークシート（800字）

段落ごとに、まずメモを書きます。文章にするのはそのあとです。書く順番は **2 → 3 → 4 → 1 → 5**。いちばん書きやすい「場面」から始めると、残りが決まります。

1 結論 目安 80～120字

書く順番 4番目

何を学びたくて、なぜこの学部か。1～2文で言い切る。時系列の前置きはここに入れない

何を学びたい？

なぜこの学部？（1～2文で言い切る）

2 場面 目安 200～250字

書く順番 1番目

志望理由に直結した出来事を1つ。いつ・どこで・誰が・何をした・何があったか

いつ・どこで・誰が？

何をして、何があった？

3 行動と気づき 目安 180～220字

書く順番 2番目

その場面で自分が決めたこと、やったこと、結果（数字があれば数字）。そこから出てきた問い

自分が決めたこと・やったこと・結果（数字）

そこから出てきた「問い」は？

4 大学で学ぶこと 目安 150～200字

書く順番 3番目

その問いを、この学部のどの科目・演習・研究で扱うか。他大学ではなくここである理由を1つ

その問いを扱う科目・演習・研究は？

他の大学ではなく、ここである理由を1つ

5 結び 目安 60～80字

書く順番 5番目

本文のいちばん強い場面を持ち込み、結論を一段強く言い直す。定型文は使わない

本文でいちばん強い場面は？

結論をもう一段強く言うとは？

書き終えたら、この6つを確かめる

16項目の基準	確かめること	OK
構成の分かりやすさ	段落の役割が1つずつになっているか	☐
結論の明確さ	段落1と段落5が同じことを、段落5のほうが強く言えているか	☐
具体的エピソードの有無	段落2に、いつ・どこで・誰が・何を、が入っているか	☐
「この大学でなければならない理由」	段落4に他大学との比較が1つあるか	☐
主張と根拠のつながり	段落3の気づきが、段落4の学びたいことに「だから」でつながるか	☐
将来ビジョンとの接続	段落4に卒業後の姿が一言あるか	☐

この型で避けられる3つの失敗

☐ 時系列で書き始める

「小学生の頃から～」で始めると、志望理由にたどり着く前に読み手の集中力が切れます。段落1に結論を置くことで、自動的に避けられます。

☐ 「理由は3つあります」と並列にする

3つを同じ重さで並べると、どれも薄くなります。この型では理由は1本（段落2～4がその1本の説明）です。

☐ 結びが定型文になる

「以上の理由から」「充実した大学生活を」は、段落5に本文の場面を持ち込む決まりにしておけば入り込みません。

書く順番

- 1 段落2（場面）から書く。いちばん書きやすく、ここが決まると残りが決まる
- 2 段落3（行動と気づき）を書き、最後の1文を「問い」の形にする
- 3 段落4（大学で学ぶこと）を、その問いに答えられる科目・演習から選んで書く
- 4 段落1（結論）と段落5（結び）は最後に。段落2～4を読み返してから、1～2文で言い切る

清書の前のメモ（字数）

段落1	段落2	段落3	段落4	段落5	合計

字数は目安です。600字なら段落2と3を縮め、1000字なら段落3に「うまくいかなかったこと」を足します。くわしい説明：sogogata-moshi.com/guide/structure/